

見る 知る 学ぶ

仏像のつくり方

仏像をつくる際には古くより金属・塑土・漆・石・木など様々な材料が用いられてきました。奈良にはこれらの材料で作られた多種多様な仏像が数多く伝わっています。仏像制作の歴史や技法・構造への理解をより深めるための講座と、塑像を題材とした制作実演を開催します。仏像についての理解を深める貴重な機会です。奮ってご参加ください。



参加
無料



日時：2月23日（木・祝） 10：30～16：00

場所：文化財修復・展示棟 B1F 展示室

定員：30名（先着順、要事前申込）

対象：中学生以上

10:30～12:00

仏像の基礎知識を学ぶ

講師：根立研介さん（奈良県学芸政策顧問／京都大学名誉教授
／公益財団法人美術院理事長）

13:30～16:00

仏像制作の実演

講師：東京藝術大学文化財保存学専攻 保存修復彫刻研究室 岡田靖さん
（准教授） 重松優志さん（2019年度博士後期課程修了・「東大寺法華
堂執金剛神立像の模刻制作を通じた奈良時代塑像の構造・技法研究」）

講師プロフィール

根立研介さん / 1956年生まれ。文化庁文化財調査官、京都大学大学院文学研究科教授などを経て現職。専門は日本彫刻史。特に仏師研究や肖像彫刻研究などに成果をあげる。

東京藝術大学文化財保存学専攻 保存修復彫刻研究室 / 1964年に東京藝術大学大学院美術研究科に設立された保存修復技術講座を前身とし、1995年に文化財保存学専攻に改組。設立以来、仏像・神像を中心に、近代彫刻、キリスト教彫刻、考古遺物などの国内外の彫刻文化財を対象とした文化財の技法材料や保存修復に関する研究を行っている。

参加申し込みはなら歴史芸術文化村 HP にて受付

詳細はこちら→

